

事務事業名	図書館総務管理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	社会教育G	
	施策名	〈27〉生涯学習の推進		課長名	和田 邦夫	
	目的・対象	市民	意図	生涯を通じて自ら学び、人生を豊かにする。	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2241
	基本事業	〈081〉学習環境の充実		担当者名	晴木 幸江	
目的・対象	市民	意図	充実した施設・設備を利用する。	予算科目	会計 0:1500:2 款 0:2 大事業名 図書館総務管理事業 中事業名 図書館総務管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
・市民	・住民に親しまれる図書館運営を目指すとともに、生涯学習情報の提供を行う。 ・住民の多種多様な自主的学習の要求に応え、教養を高める。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	・市立図書館及び図書室運營業務委託 ・雲南市図書館協議会(雲南市図書館体制のあり方及び業務内容について審議を行う教育委員会の諮問機関)の開催 ・図書館システム管理運用
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・業務委託先と図書館運営についての協議 ・雲南市図書館協議会の開催及び報酬等支出事務 ・備品購入に係る協議、支出事務 ・施設修繕に係る協議、支出事務 ・図書システム管理運用 ・図書館独自の普及・啓発活動(司書体験、よみかたりのじかん等)	・大東:H29年度からH30年度にかけて施設の改修を行ない、H30年6月リニューアル。 ・掛合:掛合総合センターと掛合交流センターの複合化に併せ、H30年4月リニューアル。 ・永井隆記念館図書室:記念館の施設整備事業に併せて整備。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 来館者数(3館)	人	48,708	58,006	62,658	67,000
イ レファレンス件数(3館)	件	3,711	3,339	3,328	3,500
ウ 資料返却サービスによる資料配送数	冊	12,123	13,796	15,524	15,000
エ 貸出冊数(3館)	冊	124,544	138,597	132,513	140,000

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
報酬・旅費 19千円 需用費 188千円 委託料 28,241千円 使用料及び賃借料 1,394千円 備品購入費 1,674千円 計 31,516千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円			99	
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	800		760	790
	一般財源	千円	31,369	31,689	30,657	32,906
	事業費計	千円	32,169	31,689	31,516	33,696

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	年間を通じて、感染症対策を取りながらの図書館運営となったが、来館者数は回復傾向にある。
② 事業実施するうえでの課題	・雲南市の図書館行政と民間業者による管理運営ノウハウを相乗的に発揮することによって、ソフト・ハード両面における図書館運営の充実を図る必要がある。 ・各種企画展示に取り組み、生涯学習機会の充実や情報発信に取り組み必要がある。 ・雲南市図書館協議会では、図書館と図書室の連携強化を図ることを課題としており、地域間格差を解消し、読書機会や資料、情報など学習機会提供の充実を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・大東、加茂、木次の市立図書館3館については、業務委託により専門性の高い職員による安定的で柔軟なサービスの提供が可能となっており、連携が図られている。また、永井隆記念館図書室、吉田図書室および掛合図書センターについても、施設指定管理者による適切な施設運営がなされている。 ・今後、図書館と図書室の連携に係る課題に対し、図書の相互やり取りによる「出張ライブラリー」や読み語りなど、連携強化を図る活動をすすめていく。